

平成26年度 草津市立クリーンセンター一年間報告書

平成26年度のクリーンセンターへ搬入されたごみ量や運転状況等を中心に報告書として以下のとおりまとめた。

1 ごみの搬入量

平成26年度にクリーンセンターへ搬入されたごみ量は38,209.54tで、平成25年度の38,795.12tと比較すると、1.51%の減となった。

内訳を見ると家庭系ごみは0.17%の減、事業系ごみは3.78%の減であった。

【ごみ搬入量】

		平成26年度	平成25年度	対前年度比
年間	合計	38,209.54t	38,795.12t	▲1.51%
	家庭系	24,333.48t	24,373.80t	▲0.17%
	事業系	13,876.06t	14,421.32t	▲3.78%

【市民1人1日当たりのごみ量】

市民1人1日当たりのごみ量を昨年度と比較すると2.85%の減となった。

平成26年度	平成25年度	対前年度比
814g	838g	▲2.85%

参考

(国の定義に合わせた1人1日当りのごみ排出量)

国の定義に合わせ、資源回収量(集団回収)を含めた1人1日当りのごみ排出量を算出すると、次のとおりとなる。

1人1日当りのごみ排出量 = $(38,210 + 4,366) \text{ t} / 128,603 \text{ 人 (住基人口 H26年9月末)} / 365 \text{ 日} \times 1000 \times 1000 = 907 \text{ g} / \text{人} \cdot \text{日}$

(国の定義に合わせた平成25年度の実績)

1人1日当りのごみ排出量 (g/人・日)	全国	滋賀県	草津市
	958	880	936

※ 環境省ホームページのデータ

【ごみ搬入量の最大月および最小月】

ごみ搬入量が最も多かった月は12月、最も少なかった月は2月であった。
ごみ種ごとの最大月・最小月は、下記のとおりとなった。

ごみ種	最大月	最小月	ごみ種	最大月	最小月
焼却ごみ	12月	2月	破碎ごみ	4月	7月
プラスチック製容器	1月	11月	電池	12月	6月
空き缶	1月	3月	蛍光管	12月	2月
飲・食料用ガラスびん	1月	2月	粗大ごみ	3月	1月
陶器・ガラス	5月	2月	古紙類	4月	10月
ペットボトル	8月	2月			

【収集区域別のごみ量】

	最大	最小
収集区域名	玉川 A	大路 B

1-1 焼却ごみ（事業系一般廃棄物含む）

焼却ごみ類の搬入量は33,419.76tで、前年度に比べ1.44%の減となった。

【ごみ搬入量】

	平成26年度	平成25年度	対前年度比
合計	33,419.76t	33,908.27t	▲1.44%
家庭系	19,555.72t	19,508.82t	0.24%
事業系	13,864.04t	14,399.45t	▲3.72%

1-2 プラスチック製容器類

プラスチック容器類の搬入量は1,071.33tで、前年度に比べ4.37%の減となった。

【ごみ搬入量】

	平成26年度	平成25年度	対前年度比
家庭系	1,071.33t	1,120.31t	▲4.37%

1-3 ペットボトル類

ペットボトル類の搬入量は 270.08t で、前年度に比べ 3.52%の減となった。

【ごみ搬入量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
家庭系	270.08t	279.93t	▲3.52%

1-4 空き缶類

空き缶類の搬入量は 229.07t で、前年度に比べ 5.78%の減となった。

【ごみ搬入量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
家庭系	229.07t	243.12t	▲5.78%

1-5 飲・食料用ガラスびん類

飲・食料用ガラスびん類の搬入量は 836.37t で、1.52%の減となった。

【ごみ搬入量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
家庭系	836.37t	849.29t	▲1.52%

1-6 破碎ごみ類

破碎ごみ類の搬入量は 447.18% で、12.83%の増となった。

【ごみ搬入量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
家庭系	447.18t	396.33t	12.83%

1-7 陶器・ガラス類

陶器・ガラス類の搬入量は 267.96t で、8.57%の減となった。

【ごみ搬入量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
家庭系	267.96t	293.09t	▲8.57%

1-8 古紙類

古紙類の搬入量は 1,291.27t で、2.91%の減となった。

【ごみ搬入量】

		平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
家庭系	古紙類	1,291.27t	1,329.95t	▲2.91%
	(新聞・広告)	503.82t	532.70t	▲5.42%
	(雑誌・雑紙)	449.19t	466.41t	▲3.69%
	(段ボール)	338.26t	330.84t	2.24%

1-9 乾電池

乾電池の搬入量は 22.06t で、4.11%の増となった。

【ごみ搬入量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
家庭系	22.06t	21.19t	4.11%

1-10 蛍光管

蛍光管の搬入量は 11.59t で、前年度と同量であった。

【ごみ搬入量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
家庭系	11.59t	11.59t	0.00%

1-11 粗大ごみ

粗大ごみの搬入量は 342.87t で、前年度と比べ 0.24%の増となった。

【粗大ごみ搬入量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
合 計	342.87t	342.05t	0.24%
家庭系	330.85t	330.65t	0.06%
事業系	12.02t	11.40t	5.44%

【粗大ごみ搬入点数】

	収集	持込	不法投棄	合計
平成 26 年度	15,771 点	6,919 点	621 点	23,311 点

【搬入点数の多かったもの（500 点以上）】

ふとん・毛布 (3,029 点)、椅子・ソファ (2,643 点)、じゅうたん・カーペット (1,274 点)、テーブル (934 点)、ベッド (832 点)、タンス (830 点)、自転車 (728 点)、衣装ケース (663 点)

2 ごみの再資源化

平成 26 年度にクリーンセンターで再資源化したごみの量は 3,808.77t であった。

【クリーンセンターでのごみの再資源化量】

	再資源化量
平成 26 年度	3,808.77t
平成 25 年度	3,889.72t

注) 町内会等が実施している資源回収分は、含まず。

【町内会等が実施している資源回収分を含むごみの再資源化量】

	クリーンセンターに おける再資源化量	町内会等が実施した 資源回収分	総再資源化量
平成 26 年度	3,808.77t	4,365.76t	8,174.53t
平成 25 年度	3,889.72t	4,550.99t	8,440.71t

【総ごみ量と総再資源化量】

	総ごみ量	総再資源化量
平成 26 年度	42,575.30t	8,174.53t
平成 25 年度	43,346.11t	8,440.71t

※総ごみ量＝クリーンセンター搬入ごみ量＋資源回収量

町内会等が実施している資源回収分を含めた再資源化率は、下記のとおりとなる。

【ごみ再資源化率】

	平成 26 年度	平成 25 年度
再資源化率	19.2%	19.5%

参考 平成 25 年度の全国平均 20.6%、滋賀県平均 19.1%

第 5 次草津市総合計画における平成 26 年度の達成目標 22.8%

2-1 金属

空き缶類や破碎ごみ類、粗大ごみから出た金属の再資源化量は次のとおりであった。

【再資源化量】

	スチール	アルミ	くず鉄	粗大くず	電線・モーター	合計
平成 26 年度	146.61t	78.94t	152.96t	95.79t	11.10t	485.40t
平成 25 年度	153.67t	75.68t	129.65t	83.77t	8.08t	450.85t

※金属類の買受業者に譲渡し、再資源化

2-2 びん類

飲・食料用びん類の再資源化量は、次のとおりであった。

【再資源化量】

	透明	茶色	その他	合計
平成 26 年度	395.14t	230.20t	142.96t	768.30t
平成 25 年度	405.54t	237.20t	142.20t	784.94t

※びんのカレット工場に譲渡し、再資源化

2-3 プラスチック、ペットボトル

容器包装プラスチック、ペットボトル、硬質プラスチックの再資源化量は、次のとおりであった。

【再資源化量】

	容器包装プラスチック	ペットボトル	硬質プラスチック
平成 26 年度	958.67t	256.07t	12.15t
平成 25 年度	1,000.23t	269.66t	12.79t

※容器包装プラスチックとペットボトルは、(公財)日本容器包装リサイクル協会へ引き渡し、再資源化

※硬質プラスチックは、プラスチックの処理業者に譲渡し、再資源化

2-4 乾電池、蛍光管

乾電池、蛍光管の再資源化量は、次のとおりであった。

【再資源化量】

	乾電池	蛍光管
平成 26 年度	21.67t	9.42t
平成 25 年度	24.48t	10.16t

※乾電池・蛍光管の処理業者に委託し、再資源化

2-5 古紙類

古紙類（新聞・広告、雑誌・雑紙、段ボール）の再資源化量は、次のとおりであった。

【再資源化量】

	新聞・広告	雑誌・雑紙	段ボール	合計
平成 26 年度	504.74t	451.63t	340.72t	1,297.09t
平成 25 年度	534.01t	468.27t	334.33t	1,336.61t

※古紙の買受業者に売却し、再資源化

注) 町内会等が実施している資源回収分は、クリーンセンターに搬入されないことから、上記の量には含まれていない。

3 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の減量化目標値

平成 26 年度における一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の減量化目標に掲げる数値は、下記のとおりであった。

※ 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の中間目標年次：平成 27 年度

※ 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の最終目標年次：平成 33 年度

【1人1日当りの家庭系ごみ排出量（資源ごみ除く）】

平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 33 年度目標値
439 g / 人・日	460 g / 人・日	430 g / 人・日

【1人1日当りに換算した事業系ごみ排出量】

平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 33 年度目標値
296 g / 人・日	320 g / 人・日	300 g / 人・日

【リサイクル率】

平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 33 年度目標値
19.2%	23%	24%

4 環境管理

平成 26 年度における排ガス中のばいじん・硫黄酸化物・窒素酸化物・塩化水素、排ガス・焼却灰中のダイオキシン類の測定結果は、いずれも基準値以下であり、適正に処理されている。

4-1 排ガスの測定結果

【排ガス測定結果（年平均）】

	単位	基準値	平成 26 年度	平成 25 年度
ばいじん	g / N m ³	0.15	<0.02	<0.02
硫黄酸化物	(SO _x) K 値	5.00	0.02	0.02
窒素酸化物	(NO _x) ppm	250	107	105
塩化水素	(HCl) ppm	430	27	29

4-2 ごみ質（焼却ごみ）の調査結果

【ごみ質（年平均）】

	平成 26 年度	平成 25 年度
可燃分	58.0%	53.8%
水分	37.5%	40.0%
灰分	4.5%	6.2%

【組成分析（年平均）】（上記ごみ質の可燃分＋灰分の組成分析）

	平成 26 年度	平成 25 年度
厨芥類	4.3%	10.8%
紙・布	57.4%	51.9%
木・竹・わら類	5.6%	8.2%
プラスチック類	29.9%	27.8%
不燃物類	0.6%	1.0%
その他	2.2%	0.4%

4-3 ダイオキシン類の測定結果

【排ガス中のダイオキシン類測定結果】

	単位	基準値	1号炉	2号炉	3号炉
平成26年度	ng-TEQ/N m ³	5	0.021	0.035	0.031
平成25年度			0.0095	0.020	0.017
			0.017		0.014

【焼却灰中のダイオキシン類測定結果】

	単位	基準値	1号炉	2号炉	3号炉
平成26年度	ng-TEQ/g	3	0.035	0.028	0.023
			0.015	0.035	0.041
平成25年度			0.025	0.044	0.058
					0.11

【飛灰中のダイオキシン類測定結果】

	単位	飛灰
平成26年度	ng-TEQ/g	2.2
		1.5
		1.2
平成25年度		1.4
		0.77

※薬剤処理をしているため、飛灰中のダイオキシン類は規制対象外

5 見学者

平成 26 年度のクリーンセンター見学者は、市内の小学 4 年生や企業など 35 団体、延べ 1,532 人であった。

【クリーンセンター見学者数】

	団体数	人数
平成 26 年度	35	1,532
平成 25 年度	36	1,432

6 電力使用量

平成 26 年度のクリーンセンターにおける使用電力量は、下記のとおりであった。

【工場棟における年間使用電力量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
使用電力量	3,499,286kwh	3,439,732kwh	1.73%

【工場棟におけるごみ 1t 当りの使用電力量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
使用電力量	92kwh/t	89kwh/t	3.37%

【事務所棟における年間使用電力量】

	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比
電灯電力量	6,592kwh	6,815kwh	▲3.27%
動力電力量	6,495kwh	7,476kwh	▲13.12%

7 資料

クリーンセンターへ搬入された総ごみ量

38,209.54 t

搬入ごみ量(内訳)

ごみ種	処理方式	家庭系ごみ		事業系ごみ		合 計
		委託搬入	持込搬入	許可業者搬入	持込搬入	
焼却ごみ	焼却	19,388.68	167.04	13,377.28	486.76	33,419.76
プラスチック製容器	資源化	1,070.69	0.64	—	—	1,071.33
ペットボトル	資源化	269.84	0.24	—	—	270.08
空き缶	資源化	228.30	0.77	—	—	229.07
飲・食料用ガラスびん	資源化	835.35	1.02	—	—	836.37
破碎ごみ	破碎	423.57	23.61	—	—	447.18
陶器・ガラス	埋立	263.12	4.84	—	—	267.96
新聞・広告	資源化	503.60	0.22	—	—	503.82
雑誌・雑紙	資源化	446.57	2.62	—	—	449.19
段ボール	資源化	336.48	1.78	—	—	338.26
乾電池	資源化	22.06	0	—	—	22.06
蛍光管	資源化	11.15	0.44	—	—	11.59
粗大ごみ	破碎	231.41	99.44	—	12.02	342.87
合 計		24,030.82	302.66	13,377.28	498.78	38,209.54
		24,333.48		13,876.06		

最終処分量 (フェニックス埋立量)

(単位:t)

減量率%

種 類	重 量	種 類	重 量	種 類	重 量	1-埋立量/ごみ量
灰(焼却灰)	2,843	灰(飛灰)	1,328	不燃物(混ガラ)	308	88.28
				最終処分量合計	4,479	

再資源化量

(単位:t)

種 類	内 訳					合 計
	スチール	アルミ	くず鉄	粗大くず	電線・モーター	
金 属	146.61	78.94	152.96	95.79	11.10	485.40
び ん 類	透 明	茶 色	その他(青・黒)			768.30
	395.14	230.20	142.96			
容リプラスチック、 ペットボトル、 乾電池、蛍光管	容リプラスチック	ペットボトル	乾 電 池	蛍 光 管	硬質プラスチック	1,257.98
	958.67	256.07	21.67	9.42	12.15	
古 紙	新聞・広告	雑誌・雑紙	段ボール		センターからの 搬出分含む	1,297.09
	504.74	451.63	340.72			
再資源化量合計	3,808.77 ^ト 再資源化率% (再資源化量/ごみ量)					9.97%

薬品等使用量

(単位:kg, kg/t)

種 類	硫 酸	凝集助剤	塩化第2鉄	重金属固定剤	消石灰
使 用 量	9,460	2	2,700	27,583	263,260
対象ごみ1t当り	0.28	0.0001	0.08	0.83	7.88
同上(前年値)	0.47	0.0003	0.18	0.94	8.68

重油等使用量

(単位:ℓ, m³)

重油使用場所	1号炉	2号炉	3号炉	合 計	上水使用量	2,423m ³
重油使用量	15,960	15,350	14,290	45,600	下水使用量	2,386m ³
軽油購入量(場内ショベル用)	2,000ℓ	灯油購入量	1,800ℓ	井水使用量	95,996m ³	
BDF購入量(場内ショベル用)	1,400ℓ	CNG(公用車)	260.2m ³	ガソリン(草刈機用)	39ℓ	

電力使用量

工場棟

電気使用量	kwh	3,499,286
日平均使用量	kwh/D	9,587
最大需用電力	kw	677
ごみ1 ^ト 当りの使用電力量	kwh	92
ごみ1 ^ト 当りの使用電力量対前年比		1.03

事務所棟

電灯電力使用量	kwh	6,592
動力電力使用量	kwh	6,495
日平均使用量	kwh/D	36
日平均使用量対前年比		0.92